

聴松軒

Choshouken

炉開き小間にて



「炉開き」小間にて

【初炭】

【唐物】

【台目】

【盆点】

【濃茶】

【後炭】

【薄茶】

【口切】

【掛物】

【花入】

花

【香合】

【釜】

炉縁

【水指】

【茶入】

仕服

【茶碗】

替

〃



茶碗 弥助



茶碗 清閑寺



茶碗 無明異焼



香合 楓



釜 阿弥陀堂



掛物 實相庵



花入 一重切

【茶杓】

【薄茶器】

建水

蓋置

【菓子器】

【干菓子器】

菓子

【干菓子】

【濃茶】

【薄茶】

「松涛」〃寛道老師

利休型〃中棗

大脇差写

引切

根来一文字喰籠

先代画 四方盆〃もみじ

「亥の子餅」「生田森」「紅葉重ね」

「洛陽の道」「みかん餅」〃とらや製

「松葉飴」「松ぼっくり」

「いちよう」〃伊織製

葉茶 猶有斎好「楽寿の昔」〃柳桜園

猶有斎好「清友の白」〃柳桜園



薄茶器 大脇差写



菓子器 根来一文字喰籠



干菓子器 もみじ



茶杓 松涛

【初炭】

羽根を中柱の釘に、香合を棚に飾る
炭斗を下げた後、座掃きを使う
茶道口を閉めたのち外へ掃き出す
小間中板につき香合の拝見の出す位置

【唐物】【盆点】

小間（台目畳）にて水指、茶入れ、盆の置き様

【濃茶】

給仕口より菓子器を出す
茶入れの仕服を中柱の釘に掛ける

【上げ台目席】

足の運び方

【口切】

葉茶をひく
回転のスピード、早すぎると
荒くなってしまう



茶葉をひく



回展のスピード



口切